

STOLA[®]
301KC

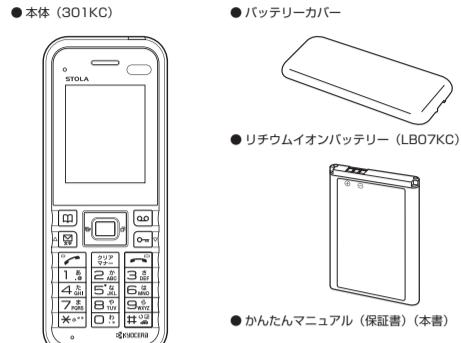
かんたんマニュアル

KTJ39K-FXA-0914SZ-YG

●はじめに

- このたびは、「STOLA (301KC)」(以降は「本機」と記載)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。お読みになったあとは、いつもお見られる前に本書をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつもお見られるように手元に大切に保管してください。
- 本書の内容の一部、または全部を無断複数することは、禁止されています。
 - 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
 - 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
 - 本書では特定の場合を除き、「STOLA[®]」を「STOLA」で略しています。

●次のものがそろっているか確認してください



万一千部に内蔵する場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
本体以外の付属品については、別売にてお買い求めになります。お買ひめについては、京セラホームページをご覧いただか、京セラテクニカルサービスセンターへご相談ください。

●安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお読みください

●この「安全上のご注意」には、本機を使用するお客様や他の人々への危険や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

●各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■表示の説明

△危険	この表示は「人が死亡または重傷 ¹⁾ 」を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
△警告	この表示は「人が死亡または重傷 ¹⁾ 」を負う可能性が想定される内容」を示しています。
△注意	この表示は「人が傷害 ²⁾ 」を負う可能性が想定される内容や物の損害 ³⁾ 」の発生が想定される内容」を示しています。

*1 「重傷」とは、失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るものの、または入院や長期の通院をするものを指します。

*2 「傷害」とは、治療に入院や長期の通院を要しないけが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

*3 「物的損害」とは、家屋・家財および家具・ベットなどにかかる拡大損害を指します。

■図記号の説明

行為を禁止する記号	行為を指示する記号
○ 禁止	○ 指示
○ 分解禁止	
○ 電池充電	○ 電池充電

■免責事項について

●地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異なる条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

●本機の使用不能から生ずる附随的な損害（事業利益の損失、事業中断、記録の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

●取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

●当社が開示していない接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

●大切なデータは、控えを取ることをお勧めします。万一、登録された情報内容が変化、消失してしまうことがあります。故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本機／バッテリー／充電用機器共通

本機・バッテリー・充電用機器のそれにも注意事項の記載があります。必ずお読みになり記載事項をお守りください。

△危険

●必ず専用の周辺機器をご使用ください。専用の周辺機器以外を使用すると破裂・発火・火災・漏液の原因となります。

●ACアダプタ（301KC）周辺機器
・ACアダプタ／モニタ／コンピュータ
・バッテリー／LB07KC

●高溫による発熱（火災のそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしないでください。破裂・発火・火災・漏液の原因となります。

●本機を長時間ご使用になる場合、特に高溫環境では、熱くなることがありますのでご注意ください。熱くなつた状態で長時間間に触れたまま使用していると、体温が下がります。

●引火性ガスや油煙が発生する場所では使用しないでください。ガスに引火し、破裂・発火・火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火性ガスが発生する場所では電源を切り、充電もしないでください。

●火の中に入りましたり、加熱したりしないでください。破裂・発火・火災・漏液の原因となります。

●分解・改造・修理はしないでください。破裂・発火・火災・漏液・感電・けがの原因となります。PHSの改造は電波法違反になります。故障などによる修理は、ワイヤレス端末（電子レンジなど）や高圧容器に入れないでください。破裂・発火・火災・漏液の原因となります。

●加熱用機器（電子レンジなど）や高圧容器に入れないでください。破裂・発火・火災・漏液の原因となります。

●分解・改造・修理はしないでください。破裂・発火・火災・漏液・感電・けがの原因となります。PHSの改造は電波法違反になります。故障などによる修理は、ワイヤレス端末（電子レンジなど）や高圧容器に入れないでください。破裂・発火・火災・漏液の原因となります。

●運搬用異物（金属片・鉛筆芯など）を、充電端子に接触させたり内部に入れたりして充電端子をショートさせないでください。破裂・発火・火災・漏液の原因となります。

●高湿で電機器の近くでは電源を切りください。電子機器に影響を与える場合があります。

●電池充電器（モニタ／コンピュータ／ACアダプタ／バッテリー／LB07KC）は、電波による影響について個別に医用電気機器を使用する場合（自宅医療など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認ください。

●本機は記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（平成9年3月「不要電波問題対策協議会」（現電波環境協議会））に準拠し、また「医用の電気機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

PHSについては平成12～13年度に調査が行われ、平成17年に上記指針、報告書の内容が妥当であることが総務省より公表されています。

●高精度な電子機器の近くでは電源を切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるのがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他電子機器・PHSの電波を切る。病院内では、PHSの電波を切る。）

●ロードマップなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、PHSの電波を切る。

●医療機器の個々に電波使用に制限止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機器の個々に従う。

●医療機器の個々に電波使用に制限止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機器の個々に従う。

●直接干渉付けをしたり、分解・改造をしたりしないでください。バッテリー内部の液が飛び出しおに入ったりして失火などの事故や、破裂・発火・漏液の原因となります。

●漏液したり、異臭がするときは直ちに使用を中止してください。また万一近くに火気がある場合は、火気から遠ざけてください。漏液した液体に引火し、破裂・発火の原因となります。

●内部の液が目に入った場合は、こすらずにきれいな水で十分洗ったあと直ちに医師の治療を受けてください。放置すると失明のおそれがあります。

●バッテリーは水やペットの尿などの液体で濡らさないでください。また、濡れたバッテリーは使用充電をしないでください。破裂・発火・漏液の原因となります。誤つて水などに入れた場合はそのまま使用せず、ワイヤレス端末（電子レンジなど）や高圧容器に入れないでください。

●充電端子は端子にビーフィングなどをお持ちください。バッテリーを分別回収している市町村の場合は、その条例に従って処理してください。

●バッテリーの取り付け／取りはずしの際に無理な力を加えたり、無理に挿入しないでください。バッテリーまたはバッテリーカバーが破損するなど、けがの原因となります。

●直接干渉付けをしたり、分解・改造をしたりしないでください。バッテリー内部の液が飛び出しおに入ったりして失火などの事故や、破裂・発火・漏液の原因となります。

●漏液したり、異

